

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスHappiness Lifeひかり店		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R7年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和7年 12月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間で利用者一人一人の支援内容や課題点を共有し支援を行っている。	・日々のカンファレンスや活動記録を通して、利用者の様子や支援内容、課題点について職員間で情報共有を行っている	・支援の充実を図るために資格取得や研修などにも参加し、更にスキルアップを図る。 ・支援内容だけでなく支援の目的や方針についても共有し、職員間で共通理解を深められる取り組んでいく。
2	・室内でも運動できる環境がある。 ・週1回のテニス活動を通じて、運動不足解消や他店舗との交流がある。	・室内運動時には、安全面に配慮し、ルールや時間、遊び方、場所の区切りを工夫して活動を行っている。 ・テニス活動では、無理のない内容や声かけを行い、楽しみながら参加できるように配慮している。	・年齢や特性に応じた運動内容を取り入れ、運動への意欲や達成感が高まるよう支援していく。 ・他店舗の児童との交流の機会を大切にし、社会性やコミュニケーション力の育成につなげていく。
3	・関係機関や学校、家庭などの連携を密にとっている。	・保護者とコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係づくりに努めている。	・情報共有の方法やタイミングを整理し、よりスムーズで分かりやすい連携体制を構築していく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員体制は十分に確保できているが、個別対応を要する場面が多く、支援の組み立てや時間配分に工夫が求められる。	・支援員間で利用者の特性や支援内容を共有し、役割分担を行いながら個別対応を行っている。 ・個別支援計画をもとに、利用者一人一人に応じた関わり方や支援方法を意識して支援を行っている。	・支援の優先順位や対応方法を整理し、限られた時間の中でも効果的な個別支援が行えるよう工夫していく。 ・個別対応が必要な場面について振り返りを行い、職員間で支援方法の共通理解を深めていく。
2	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整えているが、実際の緊急事態が起こった際に従業員、利用児童、保護者の対応がスムーズできるのか課題である。	・マニュアルや訓練は行っているものの、緊急時の対応について職員間で想定に差がある可能性があること	・事故や災害を想定した、より具体的な場面を設定した訓練を行うことで、職員間の共通理解を深めていく。